

ひと・あれ・これ

活躍する卒業生を紹介

日進月歩

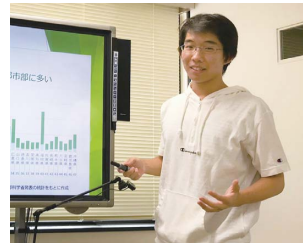
私は現在、奈良市の小学校で4年生の学級担任として、元気いっぱいの子供たちと日々過ごしています。忙しい日々ですが、職場の先生方にたくさん教えていただきながら、子供たちと楽しく充実した教員生活の2年目を過ごしています。

私が所属していた英語科は卒業論文を英語で書かなければいけないということもあり、在学中は英語の勉強に力を入れていました。ゼミで先生に紹介していただいた資料が難解な英語で、解読するのが大変だったのもいい思い出です。コロナの自粛期間中には、友人や先輩と英語で勉強会を開いたりもしました。その甲斐もあり、卒業論文では全て英語で書ききることができました。大きな達成感があったことを覚えています。

在学中は、興味のある心理学の授業に出たり、第三外国語まで受けたりしていました。当時は新しいことを知ることが楽しくいろんな授業に出ただけでしたが、いざ教員になると、「あぁこんなところでつながっているのか!」と感じることが多々あります。国際会議のボランティアに行ったり、海外からの研究者と一緒に京都の町屋に行ったりしたこともありました。振り返ると、充実した大学生活を送ることができたと感じています。

今、教壇に立ち、どんな授業をすれば子供たちが興味を持ってくれるかなといつも考えています。行事の準備など慌ただしい日々ですが、子供たちの成長や新しいことに目をキラキラ輝かせて取り組む姿を目の前で見ることができることは、教師の何よりの醍醐味だと感じています。もちろん、子供たちもいつも元気100%というわけではありません。朝の会では、一人一人の顔を見て、元気がなかったりいつもと様子が違ったりする児童には必ず声をかけるようにしています。何か困っているなら、本人や保護者とも何度も話をし解決策を探します。元気になって翌朝「先生おはよう!」と明るい声が聞けると、とても嬉しいものです。4年という、心が大きく成長する時期だからこそ、時には一緒に解決方法を考え、納得感を持って生活できるようにサポートするのが大切だと考えています。また今ではGIGAスクール構想で子供たちが一人一台タブレット端末を持っています。私が小学生のときにはなかったのですが、時代にあった指導ができるよう、私自身も勉強をしているところです。

実は大学入学当初、小学校の教員になろうとは考えていませんでした。副免許で取得できるなら、と思っていた程度でしたが、今では小学校の教員になって良かったと思っています。中学校や高校で働いている同期とは、校種は違いますが今でも連絡を取り、お互いの実践を伝え合うなど、良い刺激になっています。大学ではかけがえのない仲間と出会うことができました。



奈良市立済美小学校 教諭
4年生学級担任

ひがしもと かいむ
東本 開夢さん

(英語教育専修 2022年3月卒業)



社会の授業でゴミについて班に分かれて作った新聞の発表と振り返りをしています。班ごとに個性のある調べ学習ができた授業でした。

After graduation

授業風景等



給食中も気は抜けません。ぱつと食べてしまい、残り時間に丸つけなどをします。

